

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成29年8月17日 (2017.8.17)

【公開番号】特開2016-24017(P2016-24017A)

【公開日】平成28年2月8日 (2016.2.8)

【年通号数】公開・登録公報2016-009

【出願番号】特願2014-147638(P2014-147638)

【国際特許分類】

G 0 4 C 10/02 (2006.01)

G 0 4 G 19/00 (2006.01)

G 0 4 R 60/10 (2013.01)

【F I】

G 0 4 C 10/02 A

G 0 4 G 1/00 3 1 0 B

G 0 4 R 60/10

【手続補正書】

【提出日】平成29年7月10日 (2017.7.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

地板と、

前記地板を支持する支持部材と、

太陽電池と、を備え、

前記支持部材には、前記太陽電池を固定するフック部が形成されている、

ことを特徴とする電子時計。

【請求項 2】

前記フック部の下端部は前記支持部材の上面よりも底面側の位置に形成されている、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の電子時計。

【請求項 3】

ケースと、

前記ケースの内側に配置される文字板と、

前記文字板の裏面側に配置される太陽電池と、

前記太陽電池の裏面側に配置される地板と、

平面視で少なくとも一部が前記ケースと前記地板との間に配置され、前記地板を支持する支持部材と、を備え、

前記支持部材には、前記太陽電池を固定するフック部が形成されている、

ことを特徴とする電子時計。

【請求項 4】

前記ケースの一方の開口を塞ぐカバー部材と、

前記ケースの前記カバー部材とは反対側の開口を塞ぐ裏蓋と、を備え、

前記フック部の前記裏蓋側の端部は前記支持部材の前記カバー部材側の面よりも前記裏蓋側の位置に形成されている、

ことを特徴とする請求項 3 に記載の電子時計。

【請求項 5】

前記太陽電池と係合する前記フック部の先端部には、前記太陽電池の表面となす角度が鈍角となる傾斜面が形成されている、

ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 項に記載の電子時計。

【請求項 6】

前記支持部材にはアンテナの固定部が形成されている、

ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか 1 項に記載の電子時計。

【請求項 7】

前記太陽電池と回路基板とを導通させる導通パネを備え、

前記太陽電池は、前記導通パネと接触する導通部を備え、

前記導通部は、前記フック部との係合部と連続する位置に設けられている、

ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項に記載の電子時計。

【請求項 8】

前記支持部材には、第 1 および第 2 の前記フック部が形成され、

前記地板には、前記太陽電池を案内する第 1 および第 2 の案内部が形成され、

前記支持部材の平面視における中心位置に対して、前記第 1 のフック部の位置から前記第 1 の案内部の位置までの角度は、右回りで 90 度以上であり、

前記支持部材の中心位置に対して、前記第 1 のフック部の位置から前記第 2 の案内部の位置までの角度は、左回りで 90 度以上であり、

前記第 2 のフック部は、前記第 1 の案内部と前記中心位置とを結び、さらに前記第 2 の案内部と前記中心位置とを結ぶ線を挟んで、前記第 1 のフック部の位置の反対側の位置に配置されている

ことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 7 のいずれか 1 項に記載の電子時計。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0072

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0072】

(変形例 2)

上述した実施形態においては、全てのパネルフック部 126a の先端部 126a-1 に、傾斜面 126a-2 を設けた例について説明した。しかしながら、本発明においては、全てのパネルフック部 126a に傾斜面 126a-2 を設ける必要はない。例えば、上述した第 2 位置 R2 における取り付け例のように、ソーラーパネル 135 の固定用タブ 135a-3 の端縁をパネルフック部 126a の先端部 126a-1 の下方に入れ込む場合には、傾斜面 126a-2 は不要である。すなわち、本発明においては、少なくとも一つの先端部 126a-1 に傾斜面 126a-2 が設けられていればよい。